

令和7年度第3回鎌ヶ谷市図書館協議会会議録

- 1 開催日時 令和8年2月18日(水)
午前10時00分～午前11時10分
- 2 開催場所 鎌ヶ谷市立図書館 3階 集会室
- 3 出席者
 - (1) 委員 菅井 洋子委員 片山 ふみ委員 渡邊みどり委員
佐藤 克己委員 吉岡 篤委員 滝本はる恵委員
佐藤るみ子委員 齊藤日出雄委員 大貫 和泉委員
谷口 智委員
 - (2) 市側 (事務局) 平野生涯学習推進課長 齊藤図書館長
谷口館長代理 森副主幹 土肥 田中
 - (3) 傍聴人 なし

4 鎌ヶ谷市図書館協議会 議 題

(1) 「令和8年度図書館運営方針(案)」について

(2) 「令和8年度事業計画(案)」について

菅井委員長が鎌ヶ谷市図書館協議会運営規則第3条の規定により議事を進行する。

その中で、会議録署名委員は、名簿順に2人を選出、今回は齋藤委員と大貫委員に決定した。

議 長 議題の1点目「令和8年度図書館運営方針(案)」について、事務局より説明願います。

事務局 議題(1)「令和8年度図書館運営方針(案)」の資料に基づき内容を説明。

議 長 ただ今の説明を受けて、ご意見、ご質問があればお願いします。

委 員 ボランティアの名簿登録者は何名いるのか。

事務局 登録者は34名です。

委 員 ボランティア登録者が活躍できる場所はあるのか。

- 事務局 活躍の場ということですが、ボランティア養成講座は健康増進課のブックスタートとも連携しております。ボランティア登録者のうち5名ほどがブックスタートの研修会に参加されたと報告を受けております。
- 委員 図書館開館40周年の記念行事に郷土資料館とのコラボレーションができないか。図書館には多くの市民が来館しているが、郷土資料館は来館者が少ない。記念行事をコラボレーションすることによって、相乗効果で郷土資料館の来館者数も増えるのではないか。これは提案。
- 事務局 委員のおっしゃるとおりだと思います。30周年記念時には、郷土資料館から資料を借りて展示を行った経緯もございます。40周年行事の計画は、これから作成いたしますが、郷土資料館とのコラボレーションも検討してまいります。
- 委員 ボランティアのニーズと登録者34名との関係として必要数が足りているのか。
極端な話、足りているのならば登録者を増やす必要がないのでは。
- 事務局 図書館では、各所で読み聞かせなどを行っていますが、そこにボランティアの力が必要となってきますので、ボランティアの掘り起こしという意味で養成講座の実施、育成を考えています。
必要数を設定して、足りている・足りていないということではなく、人材の確保ということで今後も継続してまいります。
- 委員 YA（中・高生）コーナーを設置しているとのことだが、このことを広く認知してもらい、多くの中・高生が利用できるように効果的な広報活動を行うよう要望する。
- 議長 他にご意見はありますか。
なければ議題の1点目「令和8年度図書館運営方針（案）」について終了します。
続いて、議題の2点目、「令和8年度事業計画（案）」について事務局より説明願います。
- 事務局 「令和8年度事業計画（案）」の資料に基づき内容を説明。
- 課長 「令和8年度事業計画（案）」に関連して、鎌ヶ谷市の財政状況並びに令和8年度当初予算編成について説明。
- 議長 説明ありがとうございました。
ただいまの説明に関しまして、ご意見、ご質問があればお願いします。

委員 小学生読書通帳配布事業について、なぜ対象が小学1年生だけなのか。また、新規に利用者カードを申し込んだ人だけなのか疑問がある。

事務局 読書通帳は市内在住の中学生以下の児童・生徒に無料で配布しております。

また、図書館では子どもの成長過程において、様々な取り組みを実施しております。

今回の事業は新小学1年生に対し、お祝い仕様にして記念的なものとして配布し、図書館の利用促進を図るものでございます。

委員 分館を利用しているが、読書通帳については知らなかった。

事務局 読書通帳を記帳する機械が本館にしかありませんので、分館を利用されている方には周知が充分でなかったかもしれません。

委員 分館で記帳ができないのならば、スタンプを押すなど替わりになるものを考えてはどうか。

委員 貸出しの時に発行するレシートを貼れるようにしては。

事務局 現在、読書通帳を記帳する機械が本館にしかないため、分館のみを利用されている方々に、どのように普及していけば良いか方策を検討しているところでございます。

委員 利用者カードを新1年制全員に配ってしまうというのも方法。

事務局 まず、第1弾としては、利用者カードを申し込んだ新小学1年生に配布して、その効果を検証していこうと考えています。

委員 成果としての数字を決めて、本年度が成果に達しなかった場合には来年度に全員配布するなど、毎年同様のことをするのではなく様々なアプローチで来館者を増やす努力をされたい。

委員 YA新聞はどこで見られるのか。図書館だけだと来館者以外には見るできない。

事務局 図書館本館及び分館以外に各中学校へも配布しておりまして、ホームページでも閲覧することができます。

委員 まず、感想ですが「令和8年度事業計画（案）」に新たに基本方針・主要施策の欄を設けて、運営方針と事業計画との関係が分かりやすくなって良かった。

また、YA（中・高生）コーナーの充実などピンポイントで運営方針および事業計画を組み立てているのも良かった。

1カ月に1冊も本を読まない児童・生徒の割合を不読率で評価するが、10数年前の数字では、小学生が10数パーセント、

中学生は50パーセント、高校生では80パーセントという数字が出ている。その解消のためにもYA（中・高生）コーナーの充実は重要な意味を持ってくるものと思われる。

YA新聞は学校にデータで送信しているのか。

事務局 紙ベースで送っています。なるべく学校に負担をかけない形
でお願いしております。

委員 学校司書に頼めば新聞を印刷するくらいの作業は行ってくれる
と思う。

事務局 学校司書はフルタイムで仕事をしているわけではないため、
学校教育課と相談しながら進めてまいります。

委員 駐車場が整備され、道路側が開放されたのだからPRのため
に現有の掲示板を464号線側に移動してはどうか。

事務局 掲示板については、今回の外構工事には入っておりませんが、
PRが重要であるとは認識しておりますので、掲示板の移動と
いう形ではないかもしれませんが、検討してまいります。

議長 他にご意見はございますか。

委員 2階の児童のためのグループ学習室を大人のボランティアに
開放してもらえないか。

事務局 昨年から部屋が空いている場合は図書館に係るボランテ
ィアの利用は可能としております。当日でも児童のための利用
がなければ、ご使用できます。

委員 使用可能という表現ではなく、ご使用くださいという形で標記
されないとハードルが高いのでは。

事務局 ボランティア団体には口頭でお話しさせていただいていると
ころですが、周知徹底を図るために再度、文書でお知らせする事
といたします。

委員 財政状況の説明のなかで人員配置は昨年並みで増員は認めら
れないとのことだが、図書館も人員増は認められないのか。

事務局 人員増について、どこがどうなったとは言えませんが、市全体
で考えて増員がある部署は少ないと思われます。

委員 職員の不足分を読み聞かせボランティアだけではなく、図書
館活動等のPRに関するボランティアの拡充により対応できな
いかという事で発言した。

議長 他にないようですので、その他の2点について事務局から説
明願います。

事務局 その他(1)「図書館リニューアルオープン」について資料に

基づき説明。

議 長 今の説明に対して、発言はありますか。

委 員 初富駅からの近道については、どうなっているのか。

事務局 通路には、個人の敷地もございますので、様々な課題を解決しながら進めて行かなければなりません。今すぐに回答が出せる状況にはありませんので、しばらくお待ちいただければと思います。

議 長 他に発言がないようですので、次の(2)「ブックポストの新設」について説明願います。

事務局 その他(2)「ブックポストの新設」について資料に基づき説明。

議 長 今の説明に対して、発言はありますか。

委 員 駅にもブックポストを設置してもらいたい。

事務局 今回の設置にあたっては、駅への設置を検討いたしましたが、最近の駅ではゴミ箱の設置が少なくなってきておりまして、ブックポストがゴミ箱代わりに使用されるおそれがあることから、市役所に設置することといたしました。

駅への設置は、今後の課題とさせていただきます。

議 長 他に発言はありますか。ないようですので、その他の2点目について終了いたします。

議 長 令和7年度の図書館協議会も、今回で終了となります。各委員のご協力により円滑な会議運営を行うことができました。改めて御礼を申し上げます。

ここで、令和8年度の協議会開催時期をお知らせします。

第1回は7月中に「令和8年度図書館運営方針」、「令和8年の事業計画」などを議題に開催する予定です。

10月には「先進館視察」を実施、第2回は2月上旬を目安に「令和9年度運営方針(案)」、「令和9年度事業計画(案)」を議題として開催したいと考えております。

開催にあたっては、本年同様に事務局より開催日の1カ月前までに通知を発送します。

それでは、以上を持ちまして本日の協議会を閉会いたします。皆様、大変お疲れ様でした。

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するため、次に署名する。

令和 年 月 日

署名人 齋藤 日出雄 印

署名人 大貫 和泉 印